

大きな切り妻屋根の別荘風の外觀
 長年の夢を叶えて暖炉と木の温もりのある家が出来ました



白とアイボリーでコーディネートしたリビング。スピンオフの壁ともみの木の腰壁は断熱効果が高いので暖炉のやさらかな暖かさを保ちます。

家を建てるなら、木の温もりあふれるログハウスに住んでみたいと思っていたという主人。築15年のという日本家屋の実家で暮らした経験から、外国の別荘風の家を探していました。アヴィエスホームとの出会いは、昨年の初め。一関市のモデルハウスの主人が長年憧れていた薪ストーブの暖炉があり、もみの木の床の風合いと感触とともに「これだ」と確信した。スタッフの皆さんが、丁寧に意見を聞いてくれて、願いがおり家が出来ましたと主人。暖炉そのものがインテリアになるようにデザインするなど、主人のこだわりやセンスには、施工した現場のスタッフも感心するほどでした。昨秋の入居前から週末になると山で木を切り、薪を貯えていた主人。「自分が山から木を運ぶなんて思わなかったわよ」と笑う奥様も、暖炉のやさらかな暖かさに大満足。また、もみの木の床は裸足でもヒヤッとせず、暖かくてびっくりしていません。訪ねてきた親戚や友人に床暖房が入っていると思われるほど暖かなくつろぎのある家になりました。

「T様が昨年の1月に初めて展示場に出来場頂いた際は、とてもおしゃやかなセンスのいいご夫婦だなあという印象でした。そのT様の描いていたお家のイメージは大屋根の外觀、薪ストーブ、木の内装材だったそうで、当社の展示場がイメージにピッタリです。数日後、建築予定地を調査させて頂く事になりましたが、その際には、T様が「分かりづらい場所だから」と、わざわざ私を迎えに来てくださり、現地まで案内して下さいました。お客様に迎えに来て頂くなんて初めての事でも嬉しく、有難かったです。また、新築祝いにも呼んで頂きありがとうございました。とても楽しかったです。」

T様のお陰で、当店の自慢できるのもすばらしい家が出来たと思います。これからはT様の想いのこもったこの家で安心してゆったりとした生活を送って頂ければと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



担当より一言
 営業 菊地

取材当日、隣町に住む娘さんやお孫さんたちも訪ねてきてにぎやかな撮影となりました。取材後には、営業や設計スタッフを招いて食事会を開催していただきました。家造りの勉強させて頂くことも多かったのに、いろいろご苦労をかけたお礼だからと話すご夫妻のやさしさに触れ、スタッフも感激。もみの木の住まいとともに、末永いお付き合いよろしく願います。



リビングに入ると最初に自慢の暖炉が迎えてくれます。吹き抜けの天井の2本の梁や、静かに回るファンがご主人念願の別荘の雰囲気を感じます。仕事から帰ると暖炉の炎を見ながら奥様とグラスを傾けるのが楽しみとか。



2Fからもこんな風にリビングが見下ろせます。楽しいですよ。照明器具は奥様のアイデア。梁との一体感があって雰囲気にとってもマッチしています。



客間用に作った1F奥の和室。「和室はひとつあると落ち着きますね」と奥様。天井近くの小窓はリビングから暖炉の暖かい空気を取り入れています。



白&黒でコーディネートした2F主寝室。天井は切り妻屋根の勾配と火打ち梁を見せてインテリアのアクセントに。



暖炉の後ろをぐるりとまわって2Fへ続くリビング階段は、インテリアとしてどこか楽しい雰囲気を感じています。遊びに来たお孫さんたちも楽しそう。



CASE19:岩手県奥州市 Tさんのお宅
 家族構成:夫・妻(写真ほかは、遊びに来ていた娘さんとお孫さん)
 延べ床面積:31坪 部屋 3LDK
 こだわり設備:1F、2Fもみの木床材+省エネ&健康塗装
 暖房は薪ストーブ



縦長のスペースの玄関は上がり口を斜めに切るデザインで、収納スペースも取りながら広さを出し、出入りもスムーズに。レンガタイルでアクセントをつけた玄関ポーチ。ポーチからリビングに入るまで、やさらかな曲線のアーチで迎えるデザイン。玄関ポーチをはさんで家の南側と東側にウッドデッキを配しています。



リビング入口のアーチ部分に余ったレンガを張りました。「遊び心」がちょっとしたアクセントに。



キッチンとセットになっている背面収納カウンターは見た目も使い勝手も◎です。



空間を広く見せるオープンキッチン。調理台下と壁側に収納もたっぷり取っています。朝食は、奥様こだわりの白いキッチンカウンターで。